

令和2年度 決算のあらまし

去る6月30日に開催された第192回組合会において、当組合の令和2年度の決算が承認されましたので、その概要をお知らせします。

総括事項

前年度に比べ、組合員は233人増加しましたが、任意継続組合員は78人、被扶養者は316人それぞれ減少しました。

組合員数・被扶養者数

区分	令和元年度	令和2年度	比較増▲減
一般組合員	21,319人	21,510人	191人
市町村長組合員	40人	41人	1人
市町村長長期組合員	4人	3人	▲1人
特定消防組合員	4,103人	4,145人	42人
長期組合員	1人	1人	0人
計	25,467人	25,700人	233人
任意継続組合員	451人	373人	▲78人
被扶養者	23,020人	22,704人	▲316人

組合を構成する市町村等の数

区分	令和元年度	令和2年度	比較増▲減
市	32	32	0
町	10	10	0
村	2	2	0
一部事務組合等	39	38	▲1
計	83	82	▲1

平均標準報酬月額

長期	374,617円
短期	375,361円

業務経理

地方公共団体負担金、短期経理からの繰入金および全国市町村職員共済組合連合会(以下「市町村連合会」といいます。)からの交付金を財源に、人件費および事務費、その他共済組合の運営に要する諸費用を賄う経理です。

令和2年度の組合員1人当たりの事務費は年額11,160円で、約1百万円の当期利益金が生じました。引き続き経費削減に取り組んでいきます。

(単位:千円)

収入	449,502
支出	448,421
差引	1,081

短期経理

組合員やご家族の皆さんの病気やケガによる医療費の支払い、出産、死亡、その他災害が生じた場合などに行う給付、高齢者医療に係る各種拠出金の納付のほか、介護保険料の収納を行う経理です。

収支の結果、短期経理分は約2億円の当期損失金、介護保険分は約1千万円の当期利益金が生じました。

短期経理分

(単位：千円)

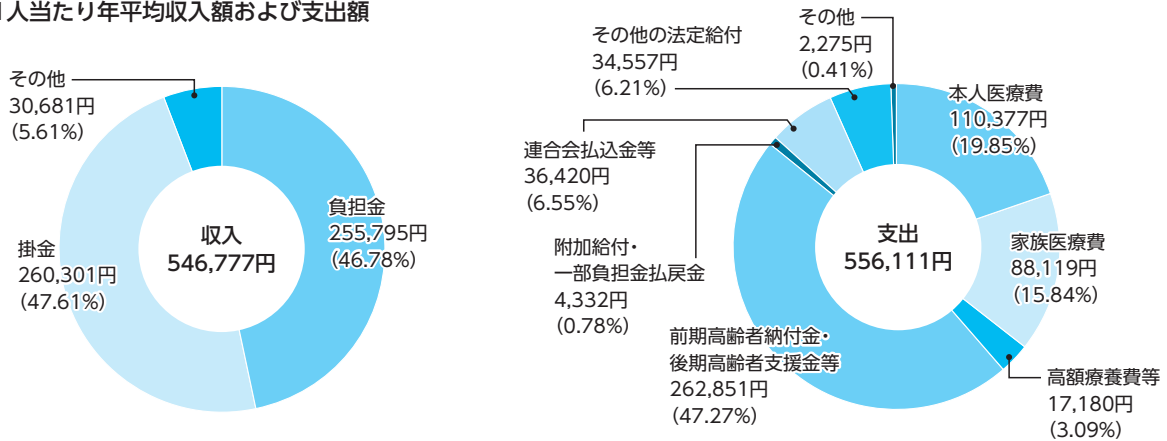
収入	15,320,488
支出	15,524,429
差引	▲203,941

介護保険分

(単位：千円)

収入	1,677,953
支出	1,664,522
差引	13,431

●組合員1人当たり年平均収入額および支出額



(注) 1. 算定基礎となる組合員数は、当該年の4月から翌年3月までの組合員(任意継続組合員を含む。)数の合計の平均。
2. 介護納付金の納付に係る費用に係る収入・支出を除きます。

厚生年金保険経理

組合員の皆さんの保険料および地方公共団体の負担金をお預かりして、市町村連合会へ払い込むための経理です。

(単位：千円)

収入	35,744,020
支出	35,744,020
差引	0

退職等年金経理

「退職等年金給付」の財源として、組合員の皆さんの掛金および地方公共団体の負担金をお預かりして、市町村連合会へ払い込むための経理です。

(単位：千円)

収入	2,282,974
支出	2,282,974
差引	0

経過的長期経理

被用者年金一元化前に決定した公務等の障害・遺族年金に要する費用の財源として、地方公共団体の負担金をお預かりして、市町村連合会へ払い込むための経理です。

(単位：千円)

収入	145,469
支出	145,469
差引	0

退職等年金預託金管理経理

市町村連合会が保有する退職等年金給付組合積立金の一部を、当組合が資金預託を受け管理・運用するための経理です。貸付経理および物資経理への資金の貸付を行っています。

(単位:千円)

収入	32,343
支出	32,343
差引	0

経過的長期預託金管理経理

市町村連合会が保有する経過的長期給付組合積立金の一部を、当組合が資金預託を受け管理・運用するための経理です。地方公共団体より引き受ける縁故地方債で運用しています。

(単位:千円)

収入	168
支出	168
差引	0

保健経理

医療費増嵩対策の一環として、組合員とご家族の皆さんの健康保持増進を図るため、各種検診をはじめとする福利厚生事業を行う経理です。

収支の結果、約6千万円の当期利益金が生じました。

(単位:千円)

収入	682,470
支出	618,969
差引	63,501

宿泊経理

保養所「大洗鷗松亭」を運営するための経理です。

収支の結果、約1億4千万円の当期損失金が生じました。

今後も新型コロナウイルス感染症防止のための衛生管理を徹底し、より一層のサービス向上に努めてまいりますので、皆様のご利用を心よりお待ちしております。

(単位:千円)

収入	304,857
支出	441,124
差引	▲136,267

貯金経理

共済貯金に加入されている組合員の皆さんからお預かりした資金を安全かつ効率的に運用し、市中金利よりも有利な利率で還元することにより、健全な財産形成を図ることを目的とした事業を行う経理です。

収支の結果、約1億6千万円の当期利益金が生じました。

令和2年度末の貯金残高は、前年度末と比べ約36億円増加し約1,275億円となりました。

(単位:千円)

収入	2,111,338
支出	1,948,383
差引	162,955

貸付経理

組合員の皆さんの住宅資金など生活に関連した資金の貸付を行う経理です。

収支の結果、約1千万円の当期利益金が生じました。

令和2年度末の貸付金残高は、前年度末と比べ約6億円減少し約48億円となりました。

(単位:千円)

収入	63,132
支出	51,943
差引	11,189

物資経理

組合員の皆さんが自動車を購入するときに、資金の一時立替えを行う経理です。

収支の結果、約3百万円の当期利益金が生じました。

令和2年度末の物資立替金残高は、前年度末と比べ約1千万円減少し約14億円となりました。

(単位:千円)

収入	23,284
支出	20,568
差引	2,716

財形経理

国が作成する「地方公務員等の財産形成事業に係る基本計画」に基づく市町村連合会からの借入金を財源として、勤労者財産形成貯蓄をしている組合員の皆さんに住宅資金を低利で貸し付けする経理です。

(単位:千円)

収入	190
支出	190
差引	0

共済貯金の運用状況

令和2年度の決算をもとに、貯金経理の貸借対照表と資産構成割合を掲載します。

資産の内訳は国債や政府保証債など有価証券が約97%を占めています。

皆さんからお預かりした大切な資金であることを踏まえ、今後も安全性を最優先とした資産運用とともに、運用益に応じた支払利率の検証を行いながら、安定した事業を継続していくよう努めてまいります。

令和2年度決算 貸借対照表

(単位:百万円)

資 産	金 額	構成割合	負債・剰余金	金 額	構成割合
普通預金	3,592	2.45%	組合員貯金	127,539	87.06%
有価証券	142,594	97.34%	流動負債	330	0.23%
その他	308	0.21%	固定負債	43	0.03%
計	146,494	100.00%	剰余金	18,582	12.68%
			計	146,494	100.00%

※剰余金には、将来の欠損金の補てんに充てるための法定積立額を含んでいます。

※令和2年度資産平均運用利回り 1.47% (令和元年度 1.50%)

有価証券の内容

(単位:百万円)

種 類	金 額	構成割合	概 要
国 債	47,128	33.05%	国が発行する債券で、安全性の高い債券です。
地 方 債	8,555	6.00%	地方公共団体が発行する債券で、国債や政府保証債に次いで安全性の高い債券です。
社 債	30,064	21.08%	一般の事業会社が発行する債券で、公共性・安全性の高い銘柄を厳選して保有しています。
諸債券(国内)	51,347	36.01%	準国債的な性格を持つ政府保証債(公団・公社等の政府関係機関が発行する債券)を保有しています。
諸債券(国外)	5,500	3.86%	格付機関からAAAの格付を取得している外国法人が発行する債券を保有しています。
計	142,594	100.00%	